

浄化センターの仕組み

～下水処理と汚泥処理～

長与町の家庭や工場から出る汚水は、下水道管を通り浄化センターへ集約されます。
汚泥を取り除き、きれいになった水は、大村湾へ放流し（下水処理）、取り除いた汚泥は消化・脱水して（汚泥処理）処分施設へ搬送します。

水処理施設

3 最初沈殿池



揚水された汚水をゆっくり流し、汚水中の小さなゴミ（生汚泥）を沈めます。

4 エアレーションタンク



汚水に活性汚泥を加え、空気を吹き込んでよく混ぜ、微生物の働きによって、更に汚れを分解します。

5 最終沈殿池

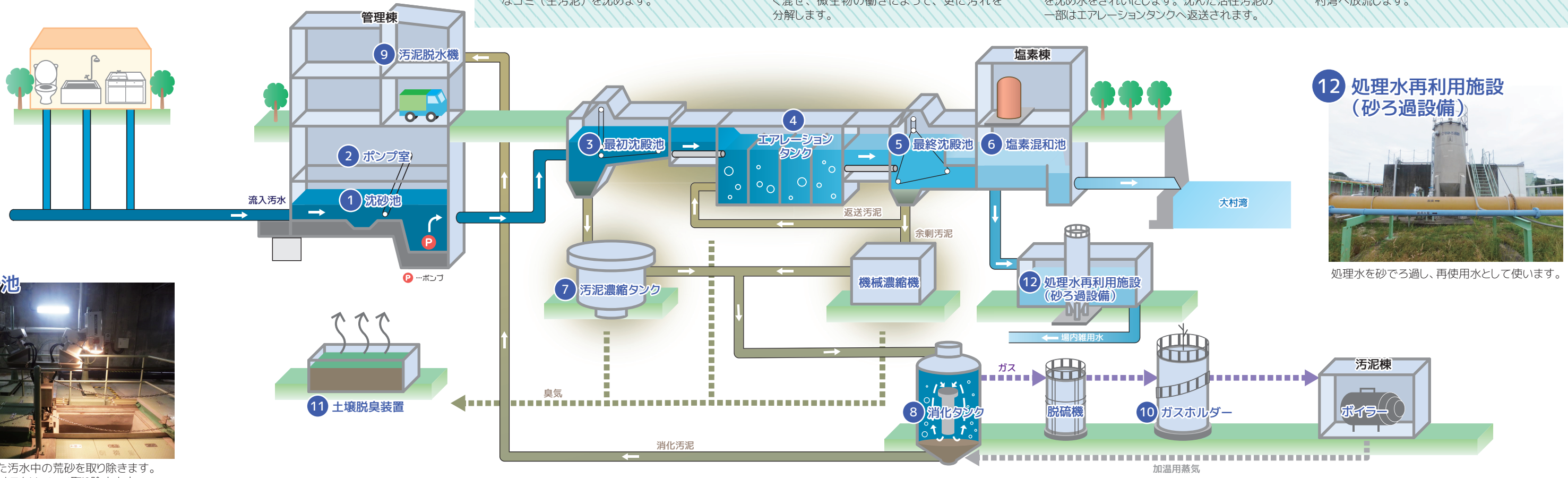


汚水と活性汚泥の混合液を流し込み、活性汚泥を沈め水をきれいにして、沈んだ活性汚泥の一部はエアレーションタンクへ返送されます。

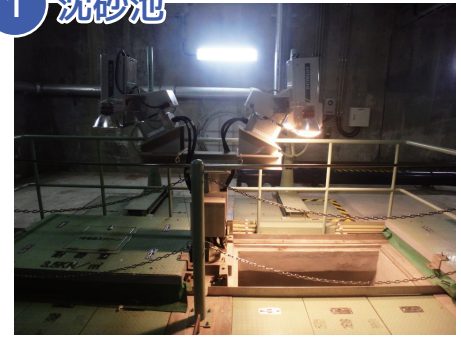
6 塩素混和池



きれいになった水に塩素を加え、殺菌し、大村湾へ放流します。



1 沈砂池



流入してきた汚水中の荒砂を取り除きます。大きなゴミはスクリーンで取り除きます。

2 ポンプ室



地下に流れてきた汚水をポンプで水処理施設に送ります。

汚泥処理施設

7 汚泥濃縮タンク



重力によって生汚泥の水分を少なくします。

8 消化タンク



濃縮した汚泥を密封して温めると、メタンガスや炭酸ガスを発生し、水と安定化した消化汚泥に分かれます。

9 汚泥脱水機



処理されて安定した泥状になった汚泥の水分を、圧搾脱水によって取り除きます。

10 ガスホルダー



脱硫設備で生成されたガスを貯蔵して、ガスの有効利用を図ります。

11 土壌脱臭装置



土壌中の微生物により、臭気成分を分解させます。

12 処理水再利用施設 (砂ろ過設備)



処理水を砂でろ過し、再使用水として使います。